

創立 25 周年記念誌

2000年5月

撰南大学工学部
土木工学科



25周年記念のご挨拶

摂南大学工学部土木工学科は昭和50年（1975年）の摂南大学開学以来、平成12年、ちょうどミレニアムという2000年の節目の4月に、25周年を迎えることができましたことを、まず皆様方とともに喜び、これもひとえに皆様方の温かいご支援、ご協力によるものと皆様方へ深く感謝申し上げる次第です。

わが土木工学科は、摂南大学の開学以前に一時的な重複期間も含めまして、大阪工業高等専門学校17年間の歴史の上に、うまく積み重ねができ、このように発展して今日まで至たのだと思っております。これも先輩諸氏のご苦勞を重ねられて努力され、社会で活躍されてきた実績の評価に支えられたり、学園関係者のご尽力のたまものであると感謝申し上げます。摂南大学の教員としてまだ日の浅い私と致しましては、これまでに大変な努力でもって教育に取り組んで頂いた先輩教員の先生方にはとくに謝意を申し上げたいと思います。

2000年のこの3月までの、すなわち、20世紀中に、摂南大学の土木工学科としては22回卒業式で2298名の卒業生を送り出しております。その前身の高専時代の15回の卒業式で送り出した902名の卒業生を併せますと、ちょうど3200名の卒業生を社会に送り出したこととなります。幸い、就職の方は、先輩諸氏のご活躍の実績に支えられたり、ご助力も得まして、これまでは何とかうまく社会へ送り出すことができしております。

しかし、最近の経済社会は構造不況の中であって、未だあまり改善が進まず、かなり苦しい展開となっているようでございます。そのような状況の中で、卒業生にはますます実社会での即戦力が期待され、大学で十分実力を養成すべく、鍛えて送り出す必要に迫られているように思います。

大学の方では、少子化のためにそれぞれの大学が生き残りをかけた厳しい競争の時代に入っており、教員一同は一丸となって、社会のニーズを意識し、4年間間に多くの知識や技術を堅実に修得してもらうための教育に努力を続ける所存でございます。大学の入学定員臨時増も順次元に戻りつつありますが、後に続きます後輩のために、今後とも先輩諸氏の益々のご支援、ご協力をお願い申し上げます、私のご挨拶とさせていただきます。

2000年 4月

摂南大学工学部土木工学科長
海老瀬 潜一